



## 20 中国 万県—梁平 高速道路建設事業

高速道路建設により  
沿線地域の経済発展、安全面向上に貢献

承諾額／実行額 200億円／176億8,400万円  
借款契約調印 1998年12月  
借款契約条件 金利1.8%、返済30年(うち据置10年)  
返済40年(うち据置10年)、部分アンタイド  
貸付完了 2004年7月  
実施機関 交通部 URL: <http://www.moc.gov.cn/> (中国語)

### 本事業の目的

重慶市の万県から梁平において、総延長67kmの高速道路を建設することにより、重慶市東部の交通事情の改善、将来の旅客貨物需要増加への対応、道路走行における安全性確保をはかり、重慶市の経済発展の促進に寄与することを目的とする。

### 本事業実施による効果(有効性・インパクト) **評価a**

本事業の実施により、当初計画では年平均日交通量7,378台/日を予定していたが、2006年実績では5,848台/日であり計画値の約8割程度となった。これは、計画値の前提であった万県以東の高速道路が現時点では未整備であることが原因であり、2010年に予定されている重慶—遂寧高速道路全線の開通により、計画値を上回る交通量が期待されている。開通後2年目の2004年では事故数90件/億台km、車両1万台あたりの死亡事故件数は6.3人だったが、交通安全対策の実施等により、2006年はそれぞれ79件/億台km、0人と減少しており、安全面の改善が確認できる。沿線地域の受益者調査では、道路開通により、雇用・ビジネス機会の改善、運輸能力の向上、投資環境の改善、観光客の増加による経済開発効果等が確認された。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

### 本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **評価a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致している。本事業は、2020年を目標として重慶と主要都市を結ぶ「三縦十横三路線」の一つであり、事業実施の妥当性はきわめて高い。

### 事業実施の経済性(効率性) **評価b**

本事業は、事業費については計画値を下回った(計画比86%)ものの、期間は計画を上回った(計画比131%)ため、効率性についての評価は中程度と判断される。

### 今後の展望(持続性) **評価a**

本事業は実施機関の能力、財務および維持管理体制ともに問題なく、高い持続性が見込まれると評価される。

### 結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は非常に高いといえる。本事業の教訓として、事業計画・審査の段階では、交通量予測を含むフィージビリティ・スタディ報告書を十分にレビューし、高品質のフィージビリティ・スタディが完成されるべく、適切な技術指導を実施することが挙げられる。



万県・梁平高速道路梁平料金所脇の交通管制センター

### 開発途上国専門家の意見

本事業は上海から成都に至る高速道路の一部を建設するものであり、同高速道路の開通により、人、物資の流通が促進され、沿岸部、内陸部の格差が是正されることが期待される。

専門家の氏名: Mr. Lu Huapu (陸化普) (学者)  
清華大学博士(環境工学)。日本で技術系の開発コンサルタントを経た後、現在、清華大学交通工学研究所教授。専門は貨物輸送、公共交通。